

東京湾海況情報 13 - 18

東京湾水質調査結果(平成14年1月分)
東京湾情報ボックス(2001年のまとめ)

平成14年1月9日
千葉県水産研究センター 富津研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
0439-65-3071 FAX 0439-65-3072
E-mail cbfb@tokyo-bay.ne.jp

資料：水質調査 1 / 7 内房海域：第2ふさみ丸，東京内湾：わかふさ七四郎丸・ふさなみ観測資料，一都三県漁海況速報，東京湾口海況図

東京湾水質調査結果(平成14年1月分)

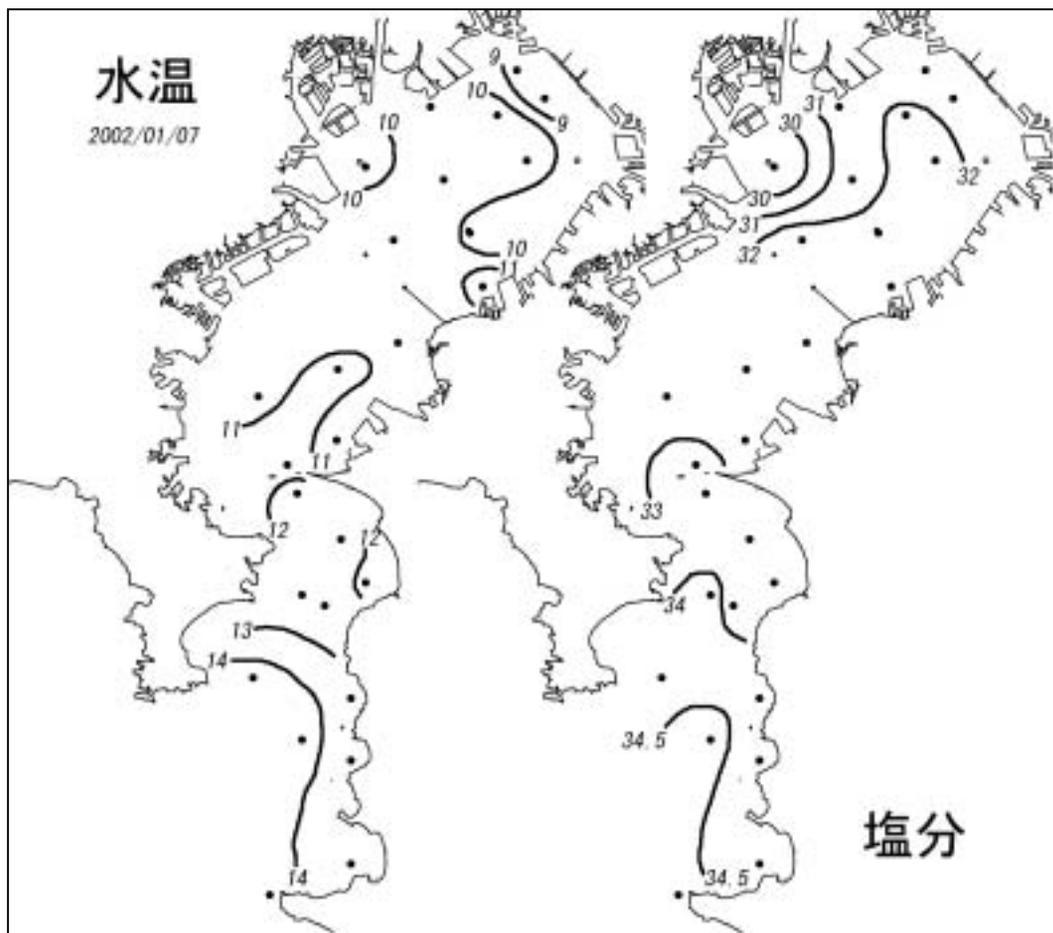


図1 表層の水温・塩分分布

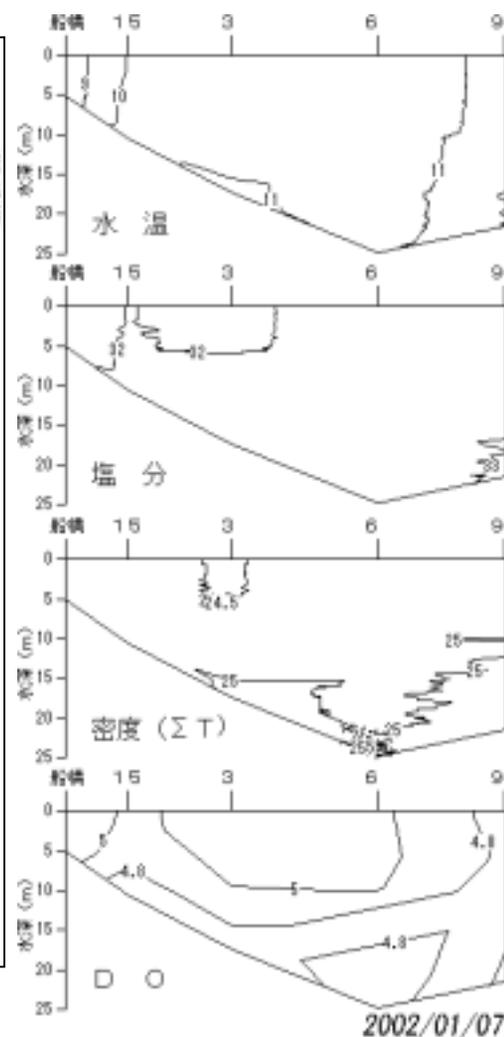


図2 内湾縦断面の鉛直分布

水温・塩分の状況(図1～3,表1)

表層の水温は内湾で8～11℃，内房海域で12～14℃でした。内房海域で平年より低めです。塩分は内湾で29～33，内房海域で33～34でした。

内湾縦断面の鉛直分布では水温8～11℃，塩分31～33でした。内房海域の鉛直分布では水温12～14℃，塩分33～34でした。内房海域で34.5以上の高塩分水が分布しています。

赤潮の状況(表1)

今回の調査では，赤潮の発生海域はありませんでした。透明度も高くプランクトンはほとんどいませんでした。

貧酸素水塊の状況(図2,4,表1)

底層の溶存酸素量は4～5 ml/Lで十分に酸素がいきわたっています。

水産研究センターでは2.5 ml/L(酸素飽和度約50%)以下を貧酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。

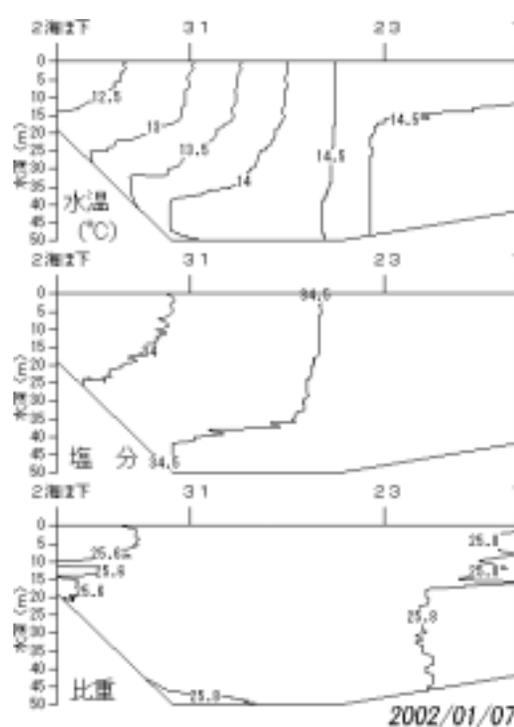


図3 内房海域の鉛直分布

表層の栄養塩類 (図5, 表1)

溶存無機態窒素(DIN)は内湾で400~1300 μg/L台, 内房で200~300 μg/L台, リン酸態リン(PO4-P)は内湾で30~80 μg/L台, 内房で20~30 μg/L台でした。のりの生育には問題ない量です。

東京湾ではDINが100 μg/L, PO4-Pが12.5 μg/Lを下回るとのりの色落ちになるといわれています。

黒潮の動き (図6)

黒潮は房総半島を離れて流れています。東京湾口部への影響はありません。

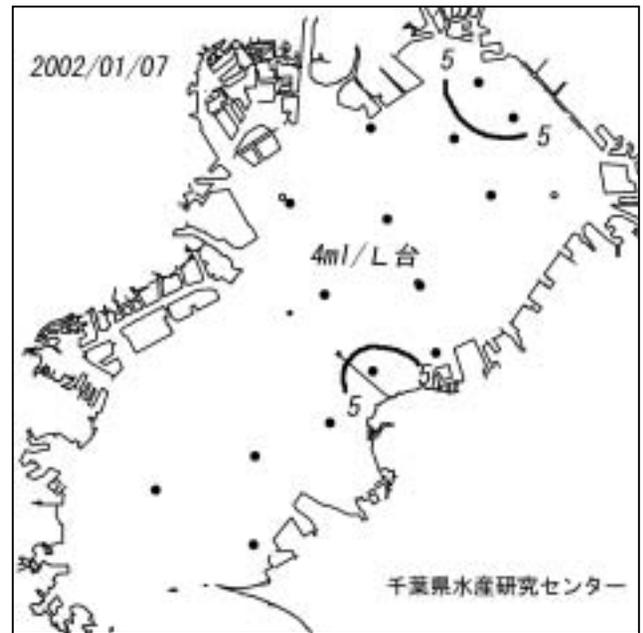


図4 底層の溶存酸素量分布 (ml/L, 観測日, 観測機関は図中に表示)

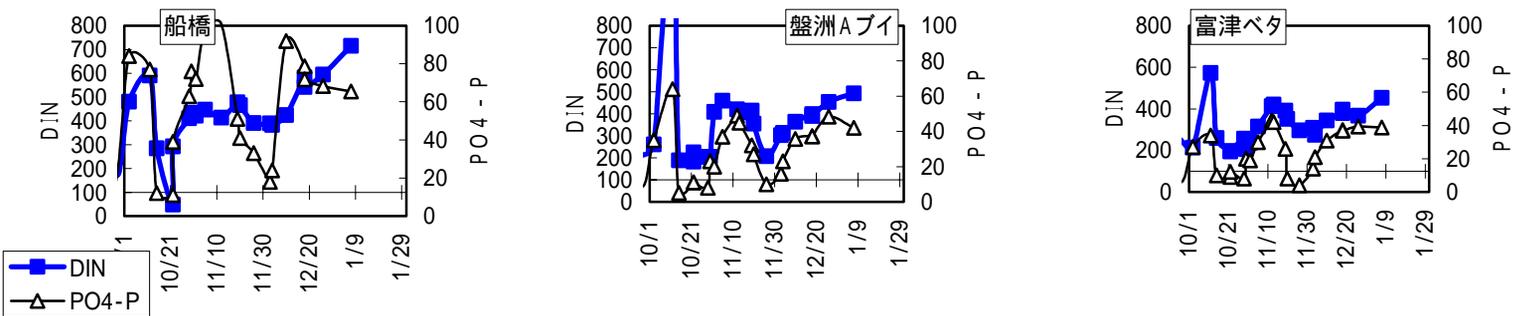


図5 のり漁場の栄養塩類量 (μg/L) の変化

表1. 主な調査点の水質調査結果 (表層)

調査年月日: 平成14年1月7日

| 調査点 | 透明度 | 水温 | 塩分 | pH | DO(底層: ml/L) | 溶存無機態窒素 (μg/L) | リン酸態リン (μg/L) | アンモニア態窒素 (μg/L) | クロロフィルa 量 |
|---------------|--------------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|----------------|---------------|-----------------|------------|
| 内湾海域 | 船橋 | 3 (9.4) | 8.4 (31.29) | 31.61 (8.3) | 8.2 (6.1) | 5.1 (771) | 715 (52) | 65 (228) | 206 |
| | St. 15 | 4.5 (10.1) | 10.0 (31.62) | 32.02 (8.2) | 8.2 (6.2) | 4.6 (740) | 658 (31) | 53 (238) | 178 |
| | st. 3 | 4.3 (10.4) | 10.1 (31.44) | 31.86 (8.3) | 8.2 (5.9) | 4.7 (829) | 708 (34) | 53 (310) | 193 |
| | St. 6 | 5.5 (10.7) | 10.2 (31.55) | 32.49 (8.3) | 8.3 (5.5) | 4.9 (777) | 532 (38) | 45 (270) | 124 |
| | St. 9 | 6.2 (11.1) | 11.4 (32.12) | 32.74 (8.2) | 8.3 (6.1) | 4.6 (587) | 500 (27) | 43 (154) | 110 |
| | 盤洲Cブイ | 5.7 (11.4) | 11.5 (31.82) | 32.54 (8.2) | 8.2 (6.1) | 5.0 (652) | 507 (32) | 44 (181) | 101 |
| | St. 8 | 5.7 (10.8) | 10.5 (31.91) | 32.65 (8.2) | 8.3 (5.6) | 4.6 (616) | 492 (28) | 42 (167) | 104 |
| | 盤洲Aブイ | 5.7 (10.8) | 10.5 (31.91) | 32.65 (8.2) | 8.3 (5.6) | 4.6 (616) | 492 (28) | 42 (167) | 104 |
| 富津ベタ | 4.8 | 10.9 | 32.91 | 8.2 | 4.9 | 452 | 39 | 93 | |
| 内房海域 | 第2海ほ下 | 8 (12.8) | 12.1 (33.21) | 33.62 (8.3) | 8.3 (6.1) | | 318 (397) | 33 (21) | 50 (97) |
| | st. 31 | 8 (14.7) | 12.8 (33.88) | 8.20 (8.3) | | | 238 (255) | 27 (15) | 21 (48) |
| | st. 23 | 17 (16.3) | 14.6 (34.50) | 34.59 (8.3) | | | 130 (117) | 20 (10) | 5 (18) |
| | st. 1 | 20 (17.1) | 14.5 (34.55) | 34.56 (8.3) | | | 138 (94) | 22 (11) | 12 (19) |
| | St. 10 (下洲沖) | 10 (14.3) | 12.6 (33.89) | 33.87 (8.3) | | | 272 (247) | 29 (12) | 31 (54) |
| | St. 12 (湊沖) | 6 (14.2) | 11.9 (33.88) | 33.81 (8.2) | | | 276 (245) | 29 (14) | 32 (52) |
| | St. 22 (保田沖) | 12 (16.1) | 13.4 (34.45) | 34.24 (8.3) | | | 202 (125) | 25 (9) | 12 (19) |
| | St. 24 (富浦沖) | 13 (16.1) | 13.5 (34.49) | 34.29 (8.3) | | | 185 (123) | 23 (11) | 8 (19) |
| St. 26 (館山湾内) | 16 (16.4) | 13.8 (34.45) | 34.38 (8.3) | | | 167 (124) | 23 (9) | 6 (20) | |

分析機器故障のため欠測 (年度版発行時には掲載予定)

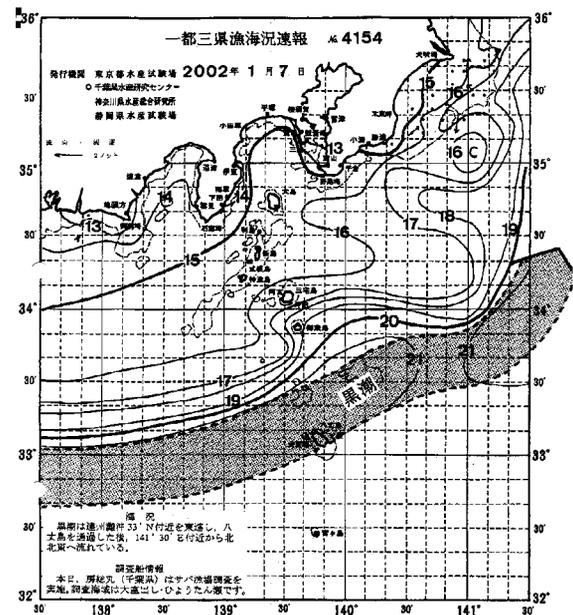


図6 黒潮の動き (一都三県漁海況速報, 1月7日分)

東京湾情報ボックス(2001年のまとめ)

4月から始めた東京湾情報ボックスにはたくさんの情報が寄せられました。今年分をまとめ、貴重な資料として記録させていただきます。今後も情報の提供をよろしく申し上げます。

赤潮・青潮・海の異変

- 4 / 2 3 船橋航路周辺で青潮発生
- 5 / 8 夜光虫の赤潮発生(観測中に確認)
- 5 / 2 2 夜光虫の赤潮継続中
- 5 / 2 2 内湾の赤潮 今年初確認
- 5 / 2 4 隅田川の支流でカレイ, マハゼ, シマハゼなどの稚魚やウナギ, アユ大量死がありました。前日・前前日の雨により表層が淡水に覆われた結果, 内部が貧酸素となり酸欠で死亡した模様です(釣り人による通報を都水試から情報提供していただきました)。
- 5 / 3 1 富津研究所前で高濃度の赤潮発生
- 6 / 2 5 内房海域にも赤潮発生,(ふさなみ, 所内職員情報)
- 6 / 2 7 鋸南町勝山漁協のハマチ養殖場で赤潮(*Heterosigma akashiwo*)によると思われるへい死事故がありました(被害尾数2,770尾, 被害金額約900万円)。
- 6月末頃 内房の富山では小潮時なのに潮が速かったそうです(富山町漁協定置網船長より)。 黒潮は離岸しています・湾内の潮位も上昇していません。
- 7 / 2 6 市原市五井沖~市川航路の広い範囲で青潮発生(今年2回目)
- 8 / 1 8 ~ 2 0 船橋周辺で局所的な青潮発生
- 8 / 3 1 ~ 9 / 6 船橋航路~千葉港付近で局所的な青潮が発生

珍しい魚

- 4 / 1 2 内房でホッケ水揚げ: 富山町漁協の小型定置網でホッケが漁獲されました。全長は38cm, 1月と3月にも1尾ずつ漁獲されたそうです。
- 4 / 2 2 内湾でミシマオコゼ水揚げ: 京葉シーバースと川崎人工島の間(水深20m)で小型底びき網漁にて漁獲(市川市行徳漁協より)
- 4 / 2 5 内湾でオニオコゼ水揚げ: 川崎人工島寄り(水深22m)で小型底びき網漁にて漁獲(市川市行徳漁協より)
- 9 / 1 3 富津市磯根埼沖で大佐和漁協所属の組合員が弱って浮いているラブカ(全長約170cm, 体重約10kg)を捕獲しました。ラブカはサメの一種で, 3億5千万年前の古代型のサメ「クラドセラケ」に似ていることから「生きた化石」ともいわれています。近くでは駿河湾や相模湾で獲れるほか, 東京湾でも内房の水深200m付近に生息しているようです(中央博物館による)。



ホッケ



ミシマオコゼ



ラブカ

スナメリ目撃

- 10 / 1 浦安~船橋沖でスナメリ目撃
- 11 / 19 11月19日14時ごろ盤洲Cブイから盤洲Bブイに移動中, 岸側にスナメリを目撃しました。前回より小型で1頭のみ確認です。
- 9月 市川沖, 船橋航路東側で7頭の群れを確認(船橋の小底の漁業者による)
- 11月半ば 2日間連続で浦安「ディズニーマー」前, 水深12~13m付近で2日間連続して1頭目撃。今年は目撃例が多いこと, 湾奥で目撃するのは珍しいこと(船橋の小底の漁業者による)
- 12 / 3 東京電力の富津火力前でスナメリ1頭を目撃しました。徐々に南下しているようです。